
平成 24 年度 学芸大学駅周辺地区「交通安全対策」説明会 概要

日 時：平成 24 年 12 月 12 日（水） 午後 7 時 00 分～午後 8 時 30 分

場 所：鷹番住区センター2 階 第 3・4 会議室

参加者：8 名

目黒区：都市整備課：幡野課長、石川係長、井出係長

土木工事課：山下係長、久能主査、飯田担当

コンサルタント：益永、小林

工事会社：(株)イクタ工業 山科

概要議事

報告事項、資料等の説明

- ・ 平成 24 年度に実施する予定の交通安全対策の内容等について

意見要旨

（東西商店街の舗装工事について）

- ・ 夜間工事は、何時から何時までを予定しているのか。人がいる時間帯だとしたら危ないのではないかと。
夜間工事の時間帯は、夜 9 時から朝 6 時が一般的ですが、詳細については、碑文谷警察署と協議の上設定する。
- ・ 道路の表面を 3cm 削り、削った後は、舗装の工事に入るまで 1 か月間が空くとのことだが、舗装工事に入るまでの段差の処理はどのようにするのか。
3cm の段差部分は、すり付けをする。また、切削してから舗装工事までの期間が極力少なくなるよう努める。
- ・ 東口、鉄道沿いのカラー舗装工事の実施区間は、どこまでか。
靴屋までとなる。

（東西商店街の舗装工事の周知について）

- ・ 交通安全対策は、「学芸大学駅周辺地区整備計画」の一つであり、今、何を実施しようとしているのかが分かるように、大きな看板などで周知してほしい。
- ・ ビラの配布だけでは、沿道の方にしか情報がいかないのではないかと。
工事予告看板として、立て看板は立てたいと思っている。
全体の計画については、学大街づくり通信を全戸配布行うことにより、取り組み状況等を知らせている。今後も学大街づくり通信を活用して情報発信をしていきたい。
- ・ 下水道埋設管取り替え工事と雨水管の工事は、事業者が違うのはわかるが、下水道工事から舗装工事まで一気に実施するという考え方が必要ではないかと。
舗装整備後、掘り返すことがないように、下水道工事が先行して入っており、雨水管の工事は、下水道工事が終わってから入る予定としている。
下水道局等とは、今後も工事調整を行っていく。
- ・ 工事の沿線の人だけでなく、利用者が影響を受ける。下水道埋設管取り替えのための整備は、舗装整備と一体であるという認識の上で、説明することが必要ではないかと。

下水道工事の説明は、下水道局が責任を持って行っている。

様々な企業体が工事を行う場合には、個々に責任を持って対応していただく。

(学大地区の街づくりについて)

- ・ 今回の道路整備工事は、学大の街づくりと関係する。
- ・ 商店街のルールといったソフト面の対応は、重要であるため、こうした工事説明会と併せて説明していくことが必要なのではないか。
- ・ 地区懇談会だけでなく、利用者に対して投げかけなければならない。別途、説明会等を開催してもらえるのか。

商店街ルールについては、まずは商店街として主体的にいろいろと取り組もうとしているものである。今後も地区には、街づくり通信等で、情報提供をしていく。

- ・ 舗装整備工事は、平成 24 年度、25 年度以降にも、相当程度の整備が発生すると思っている。
- ・ 全体像については、説明会時、配布資料の中で、全体図を示すなどして保持してほしい。
- ・ 学芸大学駅周辺地区のエリア決めは、他の地区とは異なり、交通計画等も、このエリアの中できちんとやっていくものだと思っている。
- ・ 補助 26 号整備を念頭においたエリア決めの考え方ははじめ、全体のエリアに関しての説明、商店街ルールについての説明は、今後、どのようなスケジュールでやっていただけるかを聞かせてほしい。

現在の状況を地区懇談会、街づくり通信等で周知している。今後も地区懇談会、街づくり通信等で周知していきたい。

- ・ 補助 26 号は、いつできるか。また、補助 26 号が出来たときの交通の流れなどはどう変化するのか、同時に提示されるべきである。
- ・ 工事の説明だけということではなく、もっと一体的に、学大がどう変わるかということに住民に知らせてほしい。
- ・ 地域にとって重要なことを、今進めているというのをきちんと地元伝えてほしいと思う。

補助 26 号線については、用地買収済みの率は約 60%と聞いている。

御指摘の点については、機会を捉えて、適宜地区の方にお知らせしていきたいと思っている。

(今後の進め方について)

- ・ 学芸大学駅周辺地区整備構想、整備計画を経てここまで来たが、説明会に出席した人は 10 人程度と少ない。
- ・ 何千人がここに生活しているのかを理解した上で、進めていってほしい。

街づくり通信は、地区の街づくりの状況をお知らせするものとして、1 万部弱を地区内の各戸に配布している。

地区懇談会という組織があるので、その方も地元に戻って、情報を伝えていってほしい。

- ・ 各種整備主体が連携を取りながら、通行人や住民に伝えていかなければいけないと

思う。

- ・ 街がきれいになるなら、我慢しようと思ってくれる人、理解が出来ている人がどれだけいるのか心配である。

地区内すべての方に説明していくことは難しいが、節目、節目で、地区懇談会、説明会の開催や街づくり通信で周知していきたい。

- ・ 学大商店街ルールは、地元の方の意向反映も大事であるが、まずは、個々のお店の人が実行しなければならない。
- ・ 舗装工事によってきれいな道路になったのに、自転車、看板、商品はみ出しが今と同じ状況ではいけないと思う。

以上